

公立大学法人新見公立大学  
令和3年度業務の実績に関する評価結果

令和4年7月

新見市地方独立行政法人評価委員会

# 目 次

1	評価対象法人の概要	1
2	評価の実施根拠法	1
3	評価の対象	2
4	評価の趣旨及び評価者	2
	(1) 評価の趣旨	2
	(2) 評価委員会	2
5	評価方法の概要	2
	(1) 評価基準	2
	(2) 評価の手法	2
6	評価結果	3
	(1) 総合的な評定	3
	(2) 中期計画の項目ごとの評定	4
	I 教育研究等の質の向上に関する目標	4
	II 社会貢献に関する目標	4
	III 地域に開かれた大学づくりに関する目標	5
	IV 業務運営の改善及び効率化に関する目標	5
	V 財務内容の改善に関する目標	6
	VI 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標	6
	VII その他業務運営に関する重要事項	6
7	公立大学法人新見公立大学に対する勧告等	7

## 1 評価対象法人の概要

- (1) 法人名等 新見市西方1263番地2 公立大学法人新見公立大学 理事長 公文裕巳
- (2) 設立年月日 平成20年4月1日
- (3) 設立団体 新見市
- (4) 資本金の額 872,964,415円
- (5) 中期目標の期間 令和2年度から令和7年度
- (6) 目的及び業務

### ア 目的

公立大学法人新見公立大学は、健康科学に関する専門の知識と技能の教授研究を行う新見市唯一の高等教育機関である新見公立大学の運営を通じて、市民の生活及び文化の向上並びに地域社会における保健医療の進展、福祉の充実と教育の振興に寄与する有為な人材を育成する。

また、法人は、これまで培った大学運営の成果を基盤として、教育・研究などのより一層の質の向上を図るとともに、少子高齢化、過疎化、国際化及び情報化などの多様な変化に対応し、保健・福祉環境の整備や施策の充実などについて、地域社会の要請を踏まえた学術交流活動を通じて地域との連携を推進し、「人と人々が繋がり合う地域に根ざした大学」として、地域社会に貢献する。

### イ 業務

- (ア) 大学を設置し、これを運営すること。
- (イ) 学生に対し、修学、進路選択及び心身の健康等に関する相談その他の援助を行うこと。
- (ウ) 法人以外の者から委託を受け、又はこれと共同して行う研究の実施その他の法人以外の者との連携による教育研究活動を行うこと。
- (エ) 公開講座の開設その他の学生以外の者に対する学習の機会を提供すること。
- (オ) 地域又は社会において、法人における教育研究の成果を普及し、その活用を促進すること。
- (カ) 前各号の業務に附帯する業務を行うこと。

## 2 評価の実施根拠法

地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第78条の2

### 3 評価の対象

公立大学法人新見公立大学の令和3年度における業務の実績

### 4 評価の趣旨及び評価者

#### (1) 評価の趣旨

地方独立行政法人法の規定に基づき、新見市地方独立行政法人評価委員会（以下「評価委員会」という。）が、令和3年度における業務の実績について、中期計画に定められた各項目の実施状況の調査及び分析の結果を踏まえ、事業の実施状況、財務状況、法人のマネジメントの観点から、業務全体について総合的な評価を行うことにより、法人が行う業務運営の改善・充実に資する。

#### (2) 評価委員会

委員名	氏名	役職等
委員長	岡崎 平	株式会社自光モーターズ代表取締役 《企業経営に詳しい学識経験者》
委員	加藤 修	元小学校長 《教育面に詳しい学識経験者》
委員	中西 崇陽	公認会計士 《財務・監査面に詳しい学識経験者》

(委員名順、氏名50音順)

### 5 評価方法の概要

#### (1) 評価基準

「公立大学法人新見公立大学の評価実施要領」に基づき評価

#### (2) 評価の手法

公立大学法人新見公立大学の自己評価の結果を活用する間接評価方式

## 6 評価結果

### (1) 総合的な評定

評価委員会は、公立大学法人新見公立大学が自己評価し提出した「公立大学法人新見公立大学の令和3年度に係る業務の実績に関する項目別実績報告書」を適正な評価と認め、次のとおり評定した。

公立大学法人新見公立大学は、豊かな教養と高い倫理性を養い、多面的な人間理解を深め、看護、介護及び幼児教育に関する専門の知識と技能を教授研究し、良き社会人として、市民の生活及び文化の向上並びに地域及び国際社会における保健医療、福祉の増進と幼児教育の振興に寄与する有為な人材を育成することを目的としている。

令和3年度においては、大学院の再編着手や地域貢献活動の活発化など、法人の掲げる中期計画の達成に向けて、教育、研究及び社会貢献などの高い年度目標を効果的に実行する姿勢がうかがえた。

教育においては、各国家試験が極めて高い合格率となっていることや、地域唯一の高等教育機関として、各専門科目の知識・技能の修得のみならず、情報化社会に対応するためのICT教育に取り組むなど、幅広い教養と実践力を備えた優れた人材の育成につながっていることが評価できる。

また、学生の履修環境の向上のために学生と教職員の意見交換会を実施していることや、学生が希望する将来の実現に向け、公務員講座の開催や進学希望学生に対するきめ細かい就学指導の実施、地域人材を講師に迎え講義や研究を行っていること、四年制への改組後、即時に「共生社会推進士」という新たなことに取り組んでいることなどが評価できる。

今後は、対面での臨地実習施設連絡会議開催や計画通りに大学院再編が進むことを期待する。一方、健康保育学科基礎ゼミナール科目では、アカデミック・スキル修得のための基本的プログラムを作成されたい。

学生の確保・支援については、定員以上の学生を積極的に受け入れていること、チューター制が機能し、きめ細かい学生支援を行っていること、実際に学生への深夜の緊急対応を行うなど、学生が安全・健全な学生生活を送るための支援体制が強化されていること、NiU新見駅西サテライトにおいて学生が主体となり市民との共同事業を行っていること、カリキュラムを安定的に実施しつつ適正に学生支援が行える体制を構築していることについて評価できる。

この他、教員評価を数字で表す体制が構築できていること、教職員・学生が新見市のまちづくりに積極的に参加していること、大学へのボランティア依頼の調整を行い効率的な活動を行っていること、大学ホームページに動画を多数掲載するなど内容の充実に努力していること、滞納対策により授業料収入を100%確保していることについて評価できる。

なお、学術交流センターの情報発信を行う組織の構築や、学生に対する防災、安全についての啓発ができていないため改善を求める。

以上、令和3年度業務の実績における中期計画は「計画どおり進んでいる」と評定する。

## (2) 中期計画の項目ごとの評定

### I 教育研究等の質の向上に関する目標

#### ア 評定

中期計画の進捗状況は、「計画どおり進んでいる」と評定する。

#### イ 理由

新見公立大学の大きな魅力となる大学院の再編に着手している。また、公務員、行政書士、社会保険労務士、助産学専攻科、養護教諭別科といった、学生の希望する進路実現のために、講座の開催や資格取得支援、就学支援を行っている。

#### ウ 評価した項目

##### ① 項目数

6項目

##### ② 特筆すべき項目

#### 【教育】

- ・大学院の再編に着手している。
- ・学生の進路実現のために各種講座の開催や就学指導を行っている。
- ・学生と教職員が意見交換を行い、履修環境の向上を図っている。

#### 【研究】

- ・教員評価を数字で表す評価体制を構築している。

#### 【学生確保及び支援】

- ・チューター制が非常によく機能している。
- ・N i U新見駅西サテライトでの学生の市民との共同事業への支援を行っている。

### II 社会貢献に関する目標

#### ア 評定

中期計画の進捗状況は、「計画どおり進んでいる」と評定する。

#### イ 理由

学生有志を核として教職員や地域社会と共に活動できた。また、多くの学生が地域で開催されている事業にボランティアとして参加している。

ウ 評価した項目

① 項目数

1項目

② 特筆すべき項目

・N i U新見駅西サテライトの整備を進めている。

Ⅲ 地域に開かれた大学づくりに関する目標

ア 評定

中期計画の進捗状況は、「計画どおり進んでいる」と評定する。

イ 理由

施設を活用し、市民の生活の向上、文化活動の振興、保健医療及び福祉の増進などを積極的に実施しており、また地域共生社会の構築に寄与している。

ウ 評価した項目

① 項目数

1項目

② 特筆すべき項目

・地域共生推進センターのS Aが大幅に増加し、学生参画機会の創出が図られている。

Ⅳ 業務運営の改善及び効率化に関する目標

ア 評定

中期計画の進捗状況は、「計画どおり進んでいる」と評定する。

イ 理由

地域共生推進センター事務及び学生支援事務において、長期的な計画を基にプロパー職員の採用を進めている。

ウ 評価した項目

① 項目数

2 項目

② 特筆すべき項目

- ・ 経験や資格に重きを置いた専門職員の採用が図られている。

V 財務内容の改善に関する目標

ア 評定

中期計画の進捗状況は、「計画どおり進んでいる」と評定する。

イ 理由

自己収入の確保や管理的経費の削減、健全な財務運営ができています。

ウ 評価した項目

①項目数

3 項目

② 特筆すべき項目

- ・ 授業料収納率 100%を達成している。

VI 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

ア 評定

中期計画の進捗状況は、「計画どおり進んでいる」と評定する。

イ 理由

大学からの情報が、ホームページに動画を多数掲載するなど、適宜かつ積極的に提供されている。

ウ 評価した項目

①項目数

2 項目

② 特筆すべき項目

- ・ 教員活動の省察を行うシステムを継続的に活用して欲しい。

VII その他業務運営に関する重要事項

ア 評定

中期計画の進捗状況は、「概ね計画どおり進んでいる」と評定する。

イ 理由

学生に対する防災や安全に関する啓発ができていないため、改善されるよう求める。

ウ 評価した項目

① 項目数

2項目

② 特筆すべき項目

- ・全学生を対象とした防災訓練の実施を求める。

**7 公立大学法人新見公立大学に対する勧告等**

該当なし